

第 24 期第 1 回材料工学委員会議事録

日時：平成 29 年 10 月 4 日（水）10:00－11:00

会場：日本学会議 1 F 自動販売機横

出席者（敬称略、五十音順）：

片岡一則 公益財団法人川崎市産業振興財団副理事・ナノ医療イノベーションセンター長
（兼 東京大学政策ビジョン研究センター特任教授）

筑本知子 中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授

中村 崇 東北大学名誉教授

松宮 徹 金沢大学院自然科学研究科客員教授

山口 周 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授

欠席者：

乾 晴行 京都大学大学院工学研究科材料工学専攻教授

議事：

1. 役員を選出

出席委員より委員長の候補として、山口委員が推薦され、全会一致で山口委員の委員長就任を承認した。山口委員長より、副委員長として、片岡委員、幹事として、筑本委員・乾委員が指名され、了承された。

2. 分科会世話人の決定

材料工学将来展開分科会：乾委員

SDG s を担保するための素材・材料の循環使用検討分科会：中村委員（総合工学委員会と合同）

新材料科学検討分科会：山口委員

バイオマテリアル分科会：片岡委員

材料工学ロードマップのローリング分科会：筑本委員

各分科会設置申請と会員構成案について検討する。最終的な修正等については委員長に一任することを決定した。

3. 第 175 回総会中に至急設置する分科会承認について、

バイオマテリアル分科会については、今年 11 月にシンポジウム開催を予定しているため、同委員会の設置及び委員が提案され承認された。なお、申請案の修正等については委

員長に一任することを決定した。

4. 連携会員説明会について

説明会は、10月30日午前中あるいは11月2日の開催予定であるが、いずれの場合にも山口委員長が参加し、設置予定の分科会について説明する。

5. 日本学術会議会則第27条第2項の取り扱いについて

第23期に材料工学委員会にて定められた文案について、第24期もそのまま採用することが提案され、承認された。

6. そのほか

- ・材料工学委員会に所属する連携会員候補については、山口委員長が名簿をとりまとめ、説明会後に、候補者に受諾の可否の確認を行う。
- ・第24期第2回材料工学委員会は12月下旬から1月上旬の間に開催することとし、候補日を2017年12月21日(木)、12月26日(火)、2018年1月11日(水)とした。第3回以降の日程は第2回の委員会開催時に決める。
- ・各分科会の活動について意見交換を行い、以下のような意見が出た
材料工学将来展開分科会：大型プロジェクト計画について分科会にて取り上げるかどうか、検討が必要である。
SDGsを担保するための素材・材料の循環使用検討分科会：総合工学委員会との合同分科会であるため、同委員会との調整が必要である。前期はメンバーが多く、定足数の確保に難航した。
新材料科学検討分科会：8月のIUMRS国際会議中にシンポジウムを開催。参加者があまり集まらなかったのが残念であった。今期も何らかの国際会議とジョイントしたシンポジウムを企画したいが、集客を念頭にどの会議にするか検討が必要。
バイオマテリアル分科会：11月にシンポジウム開催予定。
材料工学ロードマップのローリング分科会：今期ではバイオマテリアル関係とデバイス関係をまとめる。バイオマテリアル関係については、バイオマテリアル分科会の委員から何人か兼任してもらった方が良い。